

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王南小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語、算数の平均正答率は全国とほぼ同程度で、一定の定着がみられます。
- ・国語では、「書くこと」は全国平均を上回っており、また「読むこと」でも、登場人物の相互関係を捉えたり、物語の全体像を具体的に想像したりすることがよくできています。一方、自分の考えをまとめることや、漢字の定着には課題がみられます。
- ・算数では、特に図形の構成要素から形を判断したり、加法と乗法の混在した場面を的確に捉えて活用したりすることがよくできています。割合の性質などの「変化と関係」に関する領域については、知識の定着とその応用に課題がみられます。
- ・理科の平均正答率は全国よりも高く、定着ができている様子が見られます。特に「エネルギー」を柱とする領域で顕著でした。実験の方法を検討して改善策を考へることや実験結果についての考えを記述することなど、自分の考えをもち、それを表すことができています。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「毎日、同じくらいの時刻に寝ている、起きている」「将来の夢や目標を持っている」「人が困っているときは進んで助けている」は肯定的な割合が高くなっています。
- ・課題となる項目
「家で自分で計画を立てて勉強をしている」児童の割合が低く、学習時間は平日も休日も全国平均よりも低いです。「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている」に肯定的な児童の割合が低いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・校内研究会や日々の実践での取り組みによって向上してきた思考力・判断力・表現力をさらに伸ばせるように、児童が自ら考え、まとめ、表現し、交流する場面を授業の中で計画的に設定し、多様な表現を認め合いながら、自ら判断し活動できる力の向上を、これからも図っていきます。
- ・「やる気こん気ドリル」への児童各々のペースでの取り組みを通して、苦手な箇所の克服と達成感を味わわせることで、学習意欲の向上を図っていきます。
- ・授業の始まりには本時のめあてを提示して児童に授業への意識付けをさせるとともに、終末にはまとめをして授業を振り返るなど、学習内容が児童に定着することを旨とした授業を進めていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・『学年×10分+10分』の家庭での学習習慣が定着するように、「家庭学習の手引き」を活用したアドバイスや、お子さんの頑張りに対しての励ましや賞賛の声かけをしてあげてください。
- ・お子さんの一日の過ごし方を再確認するとともに、時間や遊びかた、コンピュータやスマートフォンの使い方等について、お子さんと向き合って「我が家のルール」の共有をしてください。
- ・親子でいろいろな本を読んだり、音読を聞いてあげたりして、読書の機会を増やしてあげてください。